

栃木県生協連・2012年度12月定例報告



2012年12月27日
栃木県連 専務 鎌柄

(1) 11月活動日誌

日付	曜日	予定
11月1日	木	食の安全ネットワーク消費者セミナー(足利)
11月2日	金	食の安全ネットワーク消費者セミナー(栃木市)
11月6日	火	食の安全ネットワーク消費者セミナー(真岡)
11月8日	木	食の安全ネットワーク消費者セミナー(小山)
11月9日	金	公正取引委員会懇談会・講演会、下野大賞選考表彰式、中央地連大災協
11月10日	土	いわき四倉工業団地仮設でのお茶会
11月13日	火	JA 栃木グループ大会、食の安全安心とちぎ消費者セミナープロジェクト
11月14日	水	企業とNPO等との意見交換会
11月15日	木	県連常務理事会、県連5次中計委員会 国際協同組合年ワーキングチーム会
11月16日	金	食の安全ネットワーク消費者セミナー(宇都宮)
11月19日	月	食の安全ネットワーク消費者セミナー(那須塩原)、 県放射性物質と食と健康に関する理解促進セミナー
11月20日	火	ふれあいお茶会、JA栃木女性会フェスティバル
11月22日	木	福祉センタービジョン委員会、消費者ネットワーク幹事会
11月24日	土	よつ葉生協・生協まつり
11月25日	日	とちぎ暮らし応援会・大ふるさと交流集会
11月26日	月	宇都宮市消費生活講演会
11月28日	水	食の安全ネットワーク消費者セミナー(鹿沼)
11月29日	木	県食品安全地域フォーラム(県南・岩下食品㈱)
11月30日	金	とちぎ消費者ネットワーク全体会、消費生活条例試案検討委員会

(2) 11月活動の概況

(会員等の動き)

11月1日からふれあいコープ関連法人の一般社団法人コープ福祉とちぎのコープ福祉介護センター小山(小山市喜沢)の介護保険事業(2階建のショートステイ20床、1階デイサービス、ヘルパーステーション)が開始された。併設のNPOウィズが運営されているちびっこハウス・すくすく(一時預かり保育室)も同日開始となった。

11月24日(土)よつ葉生協の「ふれあいまつり」が、県立県南体育館西の駐車場で晴天の中開催された。ふれあい大鍋豚汁や、認たま乱太郎クイズショー、フリーマーケットなど多彩な行事と出展で、多くの組合員・消費者の参加が楽しく交流された。

(宇都宮市内と福島県から避難されている方々のふれあいお茶会)

11月20日(水)15回目のふれあいお茶会が10時から特養みどりで開催された。参加者は、浪江町の方7名(内子供8名)、福島市の方6名(内子供1名)、双葉町の方5名、南相馬市の方3名、大熊町の方5名、相馬市の方1名、飯館村の方1名、須賀川市の方1名、大人28

名、子供1名、合計29名の参加があった。ぽぼら1名、スタッフは県連、とちぎコープ、よつ葉生協、ふれあいコープ、NPOウィズ、計12名だった。季節メニューのおでんにぎやかに盛り上がっていた。また、とちぎテレビの取材があった。次回は、12月22日10時〜クリスマス会の予定

(いわき市中核工業団地内仮設でのお茶会)

11月10日第9回目いわき市四倉中核工業団地仮設でのお茶会を開催した。参加スタッフは、とちぎコープ6名、よつ葉生協2名、県連2名の計10名、車はよつ葉生協、とちぎコープの2台でいわきに向かった。参加された方は大人12名(内男性2名)、内新しい方は2名だった。今回は毛糸の手芸と切り絵細を女性の参加者の皆さんに楽しんでもらった。反省会では、「新しく参加された方のお話は、避難された時の話など、衝撃的だった。」「愚痴を言ってごめんなさいと云われていた。」「避難されている方同士では、愚痴は云にくいのかもしれないなど」の感想が出された。

(食の安全課題の関連)

10月25日からとちぎ食の安全ネットワークが県から受託した「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」がスタートし、11月はとちぎコープを開催団体に7会場で開催された。講師は茨城大学理学部の田内広教授(1日足利、6日真岡)、福島県水産試験場五十嵐敏場長(2日栃木)、日本大学歯学部野口邦和准教授(8日間々田、19日那須塩原市)、獨協医科大学国際疫学研究室木村真三准教授(16日宇都宮、28日鹿沼)と4人の講師の方に講演と質疑への対応をいただいた。どの講師の方も放射能と放射線、単位などの基本となるお話とどう考え対応していったら良いかなどの講演を共通していただいた。

若い子育て層の方の参加も多く、身近な生活からの質問が多く出された。多くの質問に各講師の皆さん丁寧に対応いただき、今後生活して行く上で安心材料となった方もいらっしゃると思われる。共通する質問も見られた。事例としては家庭菜園の心配や家の周りの環境についての不安、海産物への不安、子どもさんの外遊びの不安などが出されていた。

各会場とも50名を上回って会場一杯となるなど予定を上回った。また、当日参加の方も多かった。各会場とも多くの子さんの保育があり、対応の大変さが感じられた。

事前に教育委員会や市町の後援を得て、学校や幼稚園・保育園関係にチラシを回されるなどの取組があり、そうしたチラシを見て参加された方も多かった。10~11月は、とちぎコープでは、各センターブロックを中心に9会場の準備と対応をいただいた。皆さんの努力にお礼を申し上げたい。



(消費者セミナー・11月28日
鹿沼会場の講師は獨協医科大学
木村真三准教授、若い方も多く
104名の参加があった。)

(消費者課題の関連)

11月30日消費者ネットワーク全体会が開催され、関東弁護士連合会の栃木県内のお二人の弁護士が参加された。2月2日の消費者シンポジウムでは、基調講演の講師及びパネラーに栃木市鈴木俊美市長の理解が得られた。

同日開催の消費者ネット・第3回消費生活条例試案検討委員会では、第2回に続いて消費生活条例試案の内容について、意見交換が行われた。

(国際協同組合年)

12月5日(火)栃木県実行委員会の最後の記念事業として「協同組合交流会」が開催される。I部では報告会として、JAグループ栃木から3名、県森連と県漁連から1名、県労福協グループから1名、県生協連グループから2名、それぞれ中堅の職員、青年部役員、女性会役員、女性理事と7名の報告者が決まった。II部は懇談会として開催される。

11月15日第15回国際協同組合年ワーキングチーム会が開催された。2012年度上期のまとめを協同組合理念・原則から捉え直した会員報告が行われた。医療生協の宮本組織部長、事業団の田中専務から報告がされ、宇都宮大学農学部 神代准教授から助言がされた。また、3月4日にワーキングチームとしての報告会を検討することとした。

(ICA臨時総会)

2012年10月30日～11月1日国際協同組合同盟(ICA)イギリスのマンチェスターで臨時総会が開催され、「協同組合の10年」に向けた計画が採択された。「2020年の挑戦」として、「経済、社会、環境の持続可能性において定評のあるリーダー、人々に最も好まれるモデル、最も急速に成長する事業形態を目指す。」として、2011～2012年を今後10年の出発点にするとしている。

最も重要な世界の動向の例として、「環境劣化と資源枯渇、金融界の不安定性と所得格差の拡大、グローバル・ガバナンスのギャップの拡大、公民権をはく奪されているような若者世代の増加」が挙げられている。2012年の国際協同組合年を終える時期、次年度からの協同組合間の今後の連携のあり方を検討する必要がある。

(日本生協連関連報告及び要請事項)

安心して住める「福島」を取り戻すための活動について、募金及び署名について会員の取り組みを報告いただいている。

安心して住める「福島」を取り戻すための活動 署名(12月27日時点)

生協名	署名数
ブリヂストン那須グループ生協	6
栃木県職員生協	42
栃木県学校生協	504
生活クラブ生協	616
とちぎコープ	20,699
よつ葉生協	3,821
ふれあいコープ	1,092
栃木保健医療生協	155
全労済栃木県本部	325
栃木県生協連	10
計	27,270

募金 (12月27日時点)

生協名	金額 (円)
栃木県学校生協	50,000
栃木県職員生協	11,869
よつ葉生協	100,000
とちぎコープ	1,120,000
ふれあいコープ(お茶会時募金)	14,025
ふれあいコープ	141,430
全労済栃木県本部	30,250
栃木県生協連	30,000
計	1,497,574

神奈川県生協連からの要請事項

・神奈川県省エネルギー・再生可能エネルギー促進条例 (仮称) の
請願署名
栃木県生協連 11月12日、持ち回り常務理事会で確認、13日発信
(会員のご協力)
栃木県学校生協 賛同
とちぎコープ 賛同
よつ葉生協 理事会確認・賛同
生活クラブ生協 賛同・生活クラブ連合会経由

(行政・他団体との協働)

11月25日とちぎ暮らし応援会の主催で、パーティを会場に、栃木県内に避難されている皆さん自身の交流と応援者の交流を目的に開催された。参加者は400名以上になり、楽しいステージでの企画や避難されている方々のご当地料理など提供、子ども広場や相談コーナーも設けられた。スタッフとしてとちぎコープ、県連、NPOウィズから約15名の協力がされた。また、物資の協力も会員からされた。

(3) 1～3月の課題

1. 1～3月部会活動の推進
(職域部会、くらし部会)
2. 1～3月ネットワーク活動(食の安全ネット、消費者ネット、福祉ネット)推進
(食の安全安心とちぎ消費者セミナーの推進、消費者シンポジウムの開催を含む)
3. 2012年国際協同合年栃木県実行委員会の収支報告とまとめ
4. 栃木県生協連内の国際協同組合年ワーキングチームの活動推進
5. 安心して住める「福島」を取り戻すための活動推進
6. 震災被災地・被災者への支援・ボランティア派遣
7. 第5次中計委員会の答申策定

(栃木県連・ネットワーク・行政・関係団体等行事の事前のお知らせ)

1. 栃木県生協連の活動予定 (9～10月)

- 1月12日(土) 11時～、お茶会、いわき市四倉工業団地仮設
- 1月15日(火) 10時～、ふれあいお茶会、特養みどり
- 1月17日(木) 17時～、東武ホテル、「賀詞交歓会」
- 2月1日(金) 10時～、福祉センター、5次中期計画委員会
- 2月12日(木) 13時30分～15時、福祉センター7階、「拡大役員研修会」
内容予定、公正取引委員会の活動について

2. ネットワークの活動予定

- 1月25日(金) 13時半～、佐野市中央公民館、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」
講師 農林水産省 大臣官房技術総括審議官 山田 友紀子氏
- 1月28日(月) 10時～、宇都宮市東市民活動センター、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」
講師 高木学校 山田 千絵氏
- 1月30日(水) 10時半～、小山市中央公民館、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」
講師 日本大学 教授 藤村 靖之氏
- 2月4日(月) 10時半～、那須塩原市いきいきふれあいセンター、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」、講師 有機農業者 館野 廣幸氏
- 2月8日(金) 13時半～、矢板市生涯学習館、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」
講師 農林水産省 大臣官房技術総括審議官 山田 友紀子氏
- 2月20日、14時半～、アピア、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」
講師 福島県水産試験場 場長 五十嵐 敏氏

- 2月2日(土) 13時半～、宇都宮大学・大学会館、「消費者シンポジウム」
- 2月7日(木) 13時半～、つくば国際会議場、「関東ブロック消費者グループフォーラム」

3. 国際協同組合同年関係

- 3月4日 15時～、福祉センター、ワーキングチームとしての報告会を予定

4. 栃木県及び宇都宮市、他団体の行事参加の予定

- 2月28日(木) 県と宇都宮市「食品安全フォーラム」開催予定